

議事録

令和6年度（2024年度）第1回 学校運営協議会

日付：令和6年（2024年）6月6日（木）

時間：午後6時から7時

司会：教頭（高橋）

I 辞令交付（新たに委員となった4名に対し）

II 自己紹介

III 議 事

1 会長・副会長選出

会 長：遠山 俊一 氏（南茅部高校を守る会会長）

副会長：川口 洋 氏（函館市南茅部支所長）

2 学校経営方針について

3 学校運営協議会会則及び学校運営協議会の組織体制・支援体制について

※1～3について、すべて承認。

IV 学校の現状について（報告）

1 学校の現状について（特色ある教育活動について：学校案内参照）

2 入学者の状況について（令和6年5月1日現在の1学年在籍状況）

3 公立高等学校配置計画案（令和7年度～9年度）について

（公立高等学校配置計画案及び「これからの高校づくりに関する指針（概要版）」参照）

V グループ協議

出席者を①学習・総務部会、②生活部会、③進路部会の3グループに分けて協議。

◆ファシリテーション：藤内（教務部長）、山崎（生徒指導部長）、吉川（進路指導部長）

【協議テーマ】

「今後の南茅部高校の教育活動で取り組むべきことや、取組の方向性について」

【協議1】 自身の部会（学習・総務部会、生活部会、進路部会）に関する内容について

◆各グループからの意見等

○高校の探究学習「南かやべ地域学」の内容やノウハウ等を中学校へ引き継ぐことも必要になるのではないか。

○地域のことを好きになる取組を今後も進めていってほしい。

○支所が協力・支援できることは積極的に行いたい。

○自己実現に向けた学習など、自己啓発に繋がる放課後の過ごし方を指導してほしい。

- 朝早くから行う漁業の手伝いなどで、日頃の生活をきつと感じる生活環境が生徒の学習に向かう余裕をなくしている可能性はある。
- 社会では学力だけでなく、コミュニケーション力が求められるので、自信を持って人前で自身の考えを話せる力をつけさせてほしい。
- 地域の人を雇いたいと考えている地元企業は少なくなく、地域の高校として地域を支える人材育成・確保に努めてほしい。

【協議 2】 自身の以外の部会に関する内容について

◆各グループからの意見等

- 入学者や在籍者が少なくなっている中では、部活動の活性化策は難しい。
- 漁業協同組合など地域の事業所では、地元の子どもの積極的に採用したい思いがある。
- 地元企業のよさを学ぶ機会を作り、地元の活性化に寄与してほしい。
- 大型特殊やフォークリフト等の免許取得など、手厚く補助する体制が地域の事業所にあることを生徒・保護者へ伝えてほしい。
- 高校単独での活性化は限りがあるかもしれないが、中学校や他の高校、大学や地元事業所等と連携することで、さらに活性化を進められる可能性を探ってほしい。
- 募集停止が決定しても、閉校するまでは南茅部高校や地元の魅力について発信し続けてほしい。
- 募集停止が決定した場合、「令和 7 年度度から募集がなくなる」「在籍している生徒は転校しなければならない」などの誤解が生じない方策を取ってほしい。
- 募集停止が決定した場合、中学生や在校生、先生方のモチベーションが保たれるか心配である。

VI その他

- 第 2 回の開催日程について : 9 月下旬から 10 月下旬頃に第 2 回を計画している。